

0.1 H18 数学選択

[1] (1) F/K が 2 次拡大であれば $\alpha \in F \setminus K$ の最小多項式の根は $a + b\sqrt{\beta}$ の形で表せる. この $\sqrt{\beta}$ を添加した体は F となる.

2 次の中間体の一つを $M = K(\sqrt{\beta})$ ($\beta \in K$) とする. L/M は 2 次拡大であるから, $L = M(\sqrt{\gamma})$ ($a, b \in K, \gamma = a + b\sqrt{\beta}$) と表せる.

$b \neq 0$ のとき. $(\gamma^2 - a)^2 = b^2\beta$ より $x^4 - 2ax^2 + (a^2 - b^2\beta) = 0$ の根は $\pm\sqrt{a \pm b\sqrt{\beta}}$ である. この多項式が可約なら $K(\sqrt{a + b\sqrt{\beta}})/K$ は 2 次拡大である. $(\sqrt{a + b\sqrt{\beta}})^2 = a + b\sqrt{\beta}$ より $K(\sqrt{a + b\sqrt{\beta}}) = K(\sqrt{\beta}) = M$ となる. これは矛盾. よって多項式は既約である.

$b = 0$ のとき $\delta = \sqrt{\beta} + \sqrt{\gamma}$ とすると $(\delta - \sqrt{\beta})^2 = \gamma = a^2$ より $\delta^2 + \beta - a^2 = 2\sqrt{\beta}\delta$. よって $\delta^4 + 2(\beta - a^2)\delta^2 + (\beta - a^2)^2 = 4\beta\delta^2$ より $x^4 - 2(a^2 + \beta)x^2 + (\beta - a^2)^2 = 0$ の根は $\pm\sqrt{\beta} \pm \sqrt{\gamma}$ である. 標数が 2 でないから $K(\sqrt{\beta}, \sqrt{\gamma})/K$ は Galois 拡大である. Galois 群は $\{\text{id}, \sigma, \tau, \tau \circ \sigma\}$ ($\sigma(\sqrt{\beta}) = \sqrt{\beta}, \sigma(\sqrt{\gamma}) = \sqrt{\gamma}, \tau(\sqrt{\beta}) = -\sqrt{\beta}, \tau(\sqrt{\gamma}) = \sqrt{\gamma}$) である.

このとき任意の $f \in \text{Gal}(K(\sqrt{\beta}, \sqrt{\gamma})/K)$ に対して $f(\delta) \neq \delta$ であるから, $K(\delta)/K$ は 4 次拡大である. すなわち $x^4 - 2(a^2 + \beta)x^2 + (\beta - a^2)^2$ は既約である.

(2) $b \neq 0$ のとき, $a^2 - b^2\beta = c^2$ ($c \in K$) である. $\sqrt{a + b\sqrt{\beta}}\sqrt{a - b\sqrt{\beta}} = \sqrt{a^2 - b^2\beta} = c \in K$ より $K(\sqrt{a + b\sqrt{\beta}}) \ni \sqrt{a - b\sqrt{\beta}}$ である. よって L/K は Galois 拡大である.

$\sigma \in \text{Gal}(L/K)$ について $\sigma(\sqrt{a + b\sqrt{\beta}}) = \sqrt{a - b\sqrt{\beta}}$ とする. このとき $\sigma^2(\sqrt{a + b\sqrt{\beta}}) = \sigma(\sqrt{a - b\sqrt{\beta}}) = \sigma(c/\sqrt{a + b\sqrt{\beta}}) = c/\sqrt{a - b\sqrt{\beta}} = \sqrt{a + b\sqrt{\beta}}$ より $\sigma^2 = \text{id}$ である. すなわち $\text{Gal}(L/K)$ は位数 2 の元を二つもつ.

$\text{Gal}(L/K)$ は位数 4 の群であるから, $\mathbb{Z}/4\mathbb{Z}, \mathbb{Z}/2\mathbb{Z} \times \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$ のいずれかである. 位数 2 の元を二つもつ群は $\mathbb{Z}/2\mathbb{Z} \times \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$ であるから, $\text{Gal}(L/K) \cong \mathbb{Z}/2\mathbb{Z} \times \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$ である.

よって中間体の数は $\mathbb{Z}/2\mathbb{Z} \times \mathbb{Z}/2\mathbb{Z}$ の部分群の数であるから 5 である. 非自明な中間体は 3 個ある.